



ゆいぐみだより

2021年 1月 第5号

あけましておめでとうございます

日に日に寒くなり、朝夕冷たい風が身に染みる季節となりました。戸外遊びが出来る時には、雪や氷などこの時期ならではの自然に沢山触れ、様々な経験をさせたいと思います。又、乾燥している季節なので、保護者の方々と連携を取りながら、体調管理などに十分に気を付け、毎日元気に過ごしていけるようにしていきたいです。

保育園での生活も、残り少なくなりました。1日1日を大切に、沢山の思い出を作っていきたいと思います。今年もどうぞ宜しくお願いします。



流行っています♪



ある日、1人の男の子がブロックを使い、ピカチュウの顔を作って保育士のところへ見せにやってきました。すると、他の子ども達も集まってきて「すご〜い!」「〇〇は作れるかな?」と、協力し合っって様々な形を作り上げていく姿が見られました。壊すのはもったいないので、お部屋に飾っていると「動いたらいいのにね」「夜になったら動くかな?」「実験してみよう!」と嬉しそうに会話を弾ませ見ている子ども達です。これからどんな物を作ってくれるのか楽しみです。



ピカチュウ



モンスターボール



キティちゃん



ドラえもん



ユニコーン



最後のクリスマス会



11月頃から少しずつクリスマス会の練習をしてきました。何の劇をするか、どの曲でお遊戯するかなど、何事も子ども達と共に考えながら練習を進めてきました。

劇は、様々なCDをかけて聴いていく中で、「これおもしろい!」と言って笑いながら聴いているうちに、自然と歌や台詞を覚えていく姿を見て、このクラスに1番合っていると思い『ねずみのよめいり』に決めました。全体で練習を行っていく中で、始めは恥ずかしさから台詞を言う声が小さくなってしまったり、踊りながら歌う事も周りの様子を伺いながら踊る姿がありました。繰り返し練習していくうちに、子ども達同士で「ここは〇〇だよ」「ここはこうしよう」と声を掛け合い、進めていく姿がとても頼もしかったです。

お遊戯は、男の子は「武田節」、女の子は「花あそび」を行いました。男の子は、年長組といえば「武田節」と憧れを抱いていたようで、自分達で踊れる事をととても喜びながら意欲的に練習に取り組んでいました。女の子の「花あそび」は、いくつか候補曲を上げた中で「これがいい!」と女の子が迷わず選んだ曲で、おしとやかに踊ることにちょっぴり苦戦しながらも、互いに教え合いながら覚えていきました。

クリスマス会当日は、保護者の方に観てもらえる事の嬉しさや、人前で発表する事の緊張があり、表情や動きが固くなってしまいう姿が見られました。しかし、皆で心一つに頑張ることが出来、練習以上の成果を見せる事が出来ました。お休みの子の分も協力して頑張る姿に成長を感じました。

発表が全て終わった後は、自分たちの発表に大満足で、大喜びの子ども達でした。保護者の方が沢山拍手をしてくれた事、頑張った事を褒めてくれた事などが子ども達の達成感やますますの自信に繋がったことと思います。お忙しい中、ご観覧ありがとうございました。